2. 平成 28 年度 下水道事業決算状況

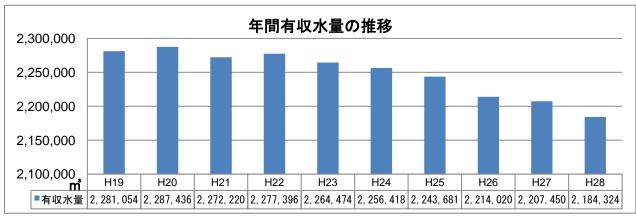
(1)総括事項

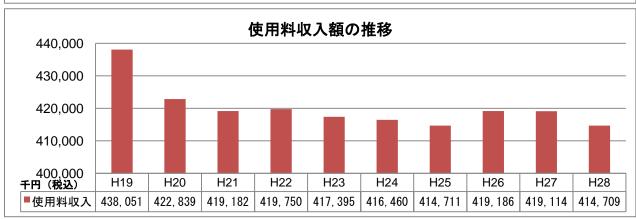
平成 28 年度における下水道事業の水洗化人口は 23,742 人で、処理区域内人口に対する水洗化率は 97.6%となっており、有収率については、前年度の有収率から 3.50%減少し 61.08%となっています。

主な事業として、名寄下水終末処理場機器更新工事(131,220 千円)、管渠補修工事(10,627 千円)、公共桝取替工事(10,990 千円)、下水処理場運営経費(192,422 千円)となっております。

【主な施設状況】

	事	項	単位	28年度	27年度	対前年度比較	備考
行政区域内人口		人	27, 944	28, 280	△ 336	住民基本台帳3月末人口	
処理区域内人口		人	24, 328	24, 648	△ 320	処理区域内の3月末人口	
処理人口普及率		%	87. 1	87. 2	△ 0.1		
面積普及率		%	81. 4	81.4	0.0	計画区域のうち、実際に整備した区域の割合	
水洗化人口		人	23, 742	23, 959	△ 217	住民基本台帳上の下水道利用 者数	
水洗化率		%	97.6	97. 2	0.4		
年間総処理水量		m³	6, 118, 981	5, 269, 032	849, 949	処理場に流入した汚水・雨水 をきれいに処理した水量	
内訳	汚水処	理水量	m³	3, 576, 066	3, 418, 277	157, 789	処理場に流入した汚水量
	雨水処	理水量	m³	2, 542, 915	1, 850, 755	692, 160	処理場に流入した雨水量
年間有収水量		m³	2, 184, 324	2, 207, 450	△ 23, 126	料金算定の対象となる家庭等 で使用した水量	
有収率		%	61.08	64. 58	△ 3.50	年間有収水量/年間汚水処理 水量	





(2)下水道事業 決算額(歳入・歳出)

平成 28 年度の決算状況については、全体で 1,070,142 千円となっており、前年度と比べ 40,938 千円減額しております。

歳入では、使用水量の減少による使用料の減収、交付金の減額に合わせた交付金事業の減少による市債の減、維持管理費用の減額等により、一般会計からの繰入金も減額しています。

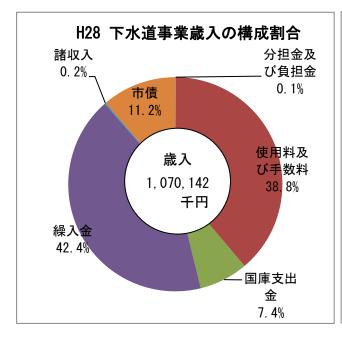
歳出では、委託料・修繕費等の減により下水道事業費が 38,720 千円減、支払利息の減少により公債費が 4,918 千円減、消費税の増により諸支出金が 2,700 千円増額しています。

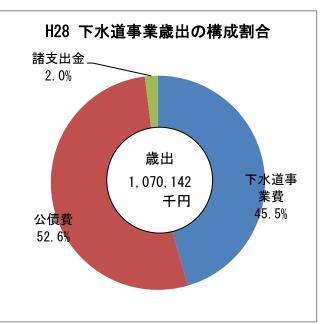
歳入 (単位:円[税込])

	科目	H28当初予算	H28決算	H27決算	差額	増減率
	分担金及び負担金	701, 000	633, 835	451, 597	182, 238	40.35%
	使用料及び手数料	411, 164, 000	414, 709, 174	419, 230, 437	△ 4,521,263	-1.08%
	国庫支出金	106, 300, 000	78, 829, 200	84, 190, 652	△ 5, 361, 452	-6.37%
	繰入金	547, 508, 000	453, 371, 308	471, 725, 642	△ 18, 354, 334	-3.89%
	諸収入	1,541,000	2, 298, 422	1, 581, 899	716, 523	45. 30%
	市債	146, 500, 000	120, 300, 000	133, 900, 000	△ 13,600,000	-10.16%
合計		1, 213, 714, 000	1, 070, 141, 939	1, 111, 080, 227	△ 40, 938, 288	-3.68%

歳出

	科目	H28当初予算	H27決算	H27決算	差額	増減率
	下水道事業費	618, 158, 000	486, 739, 001	525, 458, 922	△ 38, 719, 921	-7.37%
	公債費	571, 256, 000	562, 448, 416	567, 366, 522	△ 4,918,106	-0.87%
	諸支出金	24, 300, 000	20, 954, 522	18, 254, 783	2, 699, 739	14. 79%
合計		1, 213, 714, 000	1, 070, 141, 939	1, 111, 080, 227	△ 40, 938, 288	-3.68%





(3) 平成28年度の主な事業

◎下水道事業地方公営企業会計移行事業《地方債》 3,595,560 円

平成 32 年度からの地方公営企業法適用に向けた企業会計への移行業務を行 うため、平成28年度は、基本方針検討と研修派遣を行った。

【事業内容】

- •下水道事業地方公営企業会計移行支援業務委託料 3,412,800 円
- · 下水道事業団研修旅費

43,060 円

• 下水道事業団研修受講料

139,700 円

◎下水道建設事業《交付金・地方債》 170,527,408 円

下水道処理施設の老朽化対策として、沈砂池設備及び水処理設備を更新した。

【主な工事】

名 寄 下 水 終 末 処 理 場 内 沈 砂 池 設 備 更 新 工 事93,420,000 円

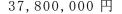


(施行状況·No.1 雨水粗目除塵機)



(施行完了·No.1 雨水粗目除塵機)

名寄下水終末処理場水処理設備更新工事37,800,000 円





(施行状況・No.3 終沈汚泥掻寄機)



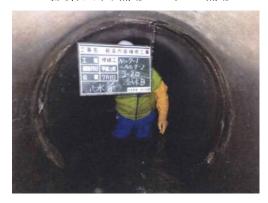
(施行完了・No.3 終沈汚泥掻寄機)

◎下水道維持管理事業 55,591,968 円

持続可能な下水道を維持するため管渠の補修を行い、延命化を図った。また、 止水性の高い公共桝への取替を行い、汚水管渠への雨水の侵入防止を図った。

【主な工事】

- ○管渠補修
 - ・管渠内面補修工事 補修 29 か所 4,492,800円





(施行前)

(施行後)

・管渠長寿命化工事 補修 45 か所 6,134,400 円



THE STATE OF THE S

(施行前)

(施行・鉄筋)

(施行完了)

- ○公共枡取替
 - ・公共桝取替工事 災害対策 取替 70 か所 7,344,000 円
 - 道路改良等に伴う公共桝取替工事 取替36か所3,646,080円



(公共桝取替工)

◎下水道終末処理場管理

188,544,226 円

○主要機器整備修繕事業

下水処理場の主要機器を常に信頼性の高い状況に維持するため、定期的整備及び通常修繕を行った。

- · 名寄地区 14,950,659 円
- · 風連地区 1,087,236 円
- ○下水汚泥処理業務

名寄地区の脱水汚泥の運搬処理については、名寄有機入り肥料利用組合と連携を図り、運搬処理費の節減に努め、風連地区については汚泥の正常が異なるため肥料化するのにコストがかかるので、産廃処理を行った。

- ・名寄地区 有機入り肥料 539t 運搬処理 82t 2,072,000円
- 風連地区 運搬処理 138t 3,654,649円
- ○風連浄水管理センター等維持運転管理業務委託料 16,848,000 風連地区の浄水管理センター等維持管理運転委託については、24時間稼働

施設なので技術経験のある業者に委託している。